

第73回 野村年金マネジメント研究会 セミナー

動き出す公的年金と資産運用の今後を考える

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度財政検証を受け、公的年金・私的年金への様々な制度改正が行われています。アセットオーナー・プリンシプルの策定など年金を始めとした機関投資家に対して、より責任ある態度を求める動きも起こっています。また、国内においては賃金上昇を伴うインフレが発生しており、このような制度・規制・経済環境の変化を受けて、投資家はどのように行動すべきでしょうか。本セミナーでは、この課題に学識者・実務者を交え議論します。ご多忙の折かとは存じますが、皆様にご参加賜れば幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

<主な講師>



湯山 智教
専修大学
商学部 准教授



遠藤 健一
日立ハイテク企業年金基金
運用執行理事



内海 杜一
Shinka Capital Management
Chief Investment Officer



玉木 伸介
大妻女子大学短期大学部
教授

■ 開催日時・会場

日付：2025年3月26日（水）

時間：14:00～17:00（開場13:30）

定員：先着130名様限定

※対面開催 オンライン配信、アーカイブ配信の予定はございません。

会場：野村証券 大手町本社6階

東京都千代区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

<アクセス>

◇地下鉄 大手町駅（A5, B2a 出口）

東京メトロ 丸ノ内線・半蔵門線・千代田線・東西線／都営 三田線

◇JR 東京駅（丸ノ内北口、丸の内中央口）



■ ご参加登録

セミナーのご参加には事前の参加登録が必要となります。下記リンクからお手続きください。

<https://nenkin.nomura.co.jp/public/seminar.html>

●本セミナーは、公的年金、企業年金、学校法人など、アセットオーナーのお客様を対象としております。

●ご参加登録をいただきましたお客様には受講票をお送りいたします。定員になり次第受付を終了いたします。

■ 運営・お問合せ

主催：野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社

協賛：野村アセットマネジメント株式会社

[セミナー事務局]

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC) フィデューシャリー・マネジメント部

担当：田中 Tel：080-8849-8597 Email：pension.seminar@nomura.com

【プログラム】

(13:30 開場・ご案内)

14:00 – 14:05 開会の辞

荻島 誠治 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC) 代表取締役社長

14:05 – 14:50 基調講演

Session 1

機関投資家の非伝統的資産投資と受託者責任

本セミナーでは、機関投資家が非伝統的資産への投資を行うに際しての受託者責任についての内外の考え方について概観し、今後のインフレの進展などを踏まえ、特に我が国におけるPE投資を想定し(特にVC投資)、その現状や課題について考えてみたい。



湯山 智教

専修大学
商学部 准教授

専修大学商学部准教授。三菱総研、金融庁(監督局、証券監視委事務局、大臣政務官秘書官、マクロ分析室長、日本銀行金融市場局、財務省理財局、東京大学公共政策大学院特任教授、ジョージタウン大学客員研究員等)を経て2024年より現職。博士(商学)早稲田大学、慶應義塾大学卒・大学院修了、日本証券アナリスト協会認定アナリスト、AFP。

【休憩】

15:10 – 16:10 パネルディスカッション

Session 2

新興マネージャーを採用する意義と資産運用の今後

近年、アセットオーナー・プリンシプルなどを受け、新興運用業者、いわゆるエマージングマネージャー(EM)に対する関心が高まっています。新興運用業者を採用する意義、そして受託者責任に反しないか、そして今後の資産運用のアイデアなどについてこのパネルディスカッションでは議論します。



遠藤 健一

日立ハイテク企業年金基金
運用執行理事

1987年、山一証券に入社し、支店営業に従事。1998年4月メリルリンチ日本証券に入社。2001年11月日立ハイテクノロジーズ(現日立ハイテク)に入社し、日立ハイテクノロジーズ厚生年金基金(現日立ハイテク企業年金基金)事務長として、代行返上、キャッシュバランスプラン導入などに携わる。2011年1月より運用執行理事として政策的資産構成割合、ヘッジファンド・プライベートアセット等のオルタナティブ資産を中心としたポートフォリオを構築。2019年4月より常務理事を兼任。



内海 壮一

Shinka Capital Management
Chief Investment Officer

2024年3月に日本株式Long/Shortをベースとした集中投資戦略を展開するShinka Capital Managementを創業。2018年から2024年まではARCM(Asia Research & Capital Mangement)にて、パートナー・日本投資責任者を務める。ARCMでは、マクロ分析・Special Situation・Deep Fundamental分析等に従事。ARCM以前は、Engagementファンド・投資銀行・PEファンドにて様々な及びアセットクラスやRole(バイアウト・不良債権・不動産・ターンアラウンド・M&A等)の経験を積む。



モデレーター 木須 貴司

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)
フィデューシャリー・マネージメント部 シニアコンサルタント

国内保険会社を経て、2012年に野村証券株式会社に入社。フィデューシャリー・マネージメント部(2021年12月、組織再編により野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社フィデューシャリー・マネージメント部)にて企業年金(DB・DC・リスク分担型企業年金)向け運用コンサルティングおよび年金運用に関するリサーチを行う。

16:10 – 16:55

基調講演

Session 3

公的年金の財政検証を受けた制度改正の方向と今後の課題

昨年7月にまとめられた公的年金の財政検証を踏まえた制度改正の議論が本格化している。少子高齢化の進行や労働市場の急激な変化に対し、公的年金保険制度は適合を繰り返していく必要がある。今回の制度改正においては、適合に向け、速やかな対処が展望されている事項もあればそうでないものもある。進行中の議論を踏まえ、今後の課題を探る。



玉木 伸介

大妻女子大学短期大学部
教授

1979年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。企画局等を経て、2001年、総合研究開発機構(NIRA)に出向、公的年金積立金の運用の研究に従事。2009年、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)出向。2011年4月より大妻女子大短期大学部教授。社会保障審議会「年金部会」部会長代理、同「資金運用部会」委員、国家公務員共済組合連合会資産運用委員会委員、独立行政法人勤労者退職金共済機構資産運用委員会委員長、日本年金学会代表幹事など。

16:55 – 17:00

閉会の辞

八木 忠三郎 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC) 代表取締役副社長

17:00 – 18:30

カクテルレセプション

セミナー終了後に“LEVEL21 東京會館”にて

カクテルレセプションを予定しております

セミナー会場のフロア6階から
直通のエレベーターで21階へ
お上がりください。



本案内に記載のセミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行う場合があります。

本セミナーのご参加については、下記事項にご同意の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社（以下、NFRC）および本セミナー協賛の野村アセットマネジメント株式会社（以下、協賛企業）にて共有し、NFRCおよび協賛企業が、自社および自社が協賛するセミナー、自社の取扱い商品の勧誘・販売・運用およびそれらに関するサービスのご案内を行うための他、自社の利用目的の範囲内で利用をさせていただきます。なお、NFRCおよび協賛企業における個人情報の利用目的の詳細は、下記をご覧ください。またNFRCから本セミナーのプログラムに記載されている講師ならびにその所属法人に対し、お客様が申込書に記載された個人情報を参加者確認のために提供する場合がございます。予めご了承ください。

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社：<https://www.nfrc.co.jp/nfr-t/policy/privacy.html>

野村アセットマネジメント株式会社：<https://www.nomura-am.co.jp/privacy/>